



広報

つがる

2007

6.15

No.57

● 市の人口と世帯数（平成19年6月1日現在） ● 人口 39,142人（男 18,738人／女 20,404人） ● 世帯数13,331世帯



主な内容

- 定期観光バスツアー ○
- 交通安全市民総決起大会 2
- アラカルト（長寿大学、虫おくり） 3
- 市民から寄せられた意見・提言と回答 4
- 街の話題 5
- おしらせ 6～9

つがる市の伝統行事 虫おくり

木造蓮川地区で虫おくりが行われ、今年の豊作と無病を祈願し集落の入り口に納められました。

定期観光バスツアー



6月1日から、つがる市の観光シーズンを告げる「定期観光バスツアー」が始まりました。

出発前のセレモニーでは市観光協会の伊藤良二会長が「今日はすばらしい天気恵まれ、ニッコウキスゲもちほら咲き始めていますので、すばらしい景観を満喫してください。心から歓迎します。」とあいさつ、

また佐藤副市長が「つがる市周辺は自然がたくさんありますので今日一日を楽しんでください。また、市民の声を取り入れたイベントを心がけて行きたいと思っています。」とあいさつしました。今年の申し込み一番目となった木造の工藤瑛子さんへ観光協会

会会長から記念の花束が贈呈されました。

初日は12人の参加者があり、ベンセ湿原や道の駅「もりた」などの風光明媚な景色を楽しんでいました。

今年から、2コースになった観光バスツアーは、市内の観光スポットを巡るもので、Aコースは道の駅もりた「アーストック」、「日本最古のりんごの木」やつがる地球村を見学し、Bコースは、高山稲荷神社やむらおこし拠点館「フラット」を見学するコースとなっています。また、どちらのコースにも、出来島海岸の埋没林とベンセ湿原が見学でき、昼食付きとなつ

ていますので、一度観光してはいかがでしょうか。

新たな「つがる市」の発見ができるかも知れません。

ツアーの申し込みは、市観光協会事務局（市役所商工観光課）まで電話でお申し込みください。大人1500円、小人（中学生以下）1000円となっております。電話42・1114



市民総ぐるみで交通安全を誓う



5月15日松の館で、春の全国交通安全運動市民総決起大会が開催されました。

決起大会には、市民約300人が参加して行われ、始めに昨年交通事故で尊い命を亡くされた犠牲者に黙祷を行いました。

あいさつで福島市長は「交通事故のない

続いて、館岡子供交通指導隊と今年5月に発足した柴田子供交通指導隊の隊員が「道路に飛び出さない、道路で遊ばない、信号を守ります」と交通安全を誓いました。

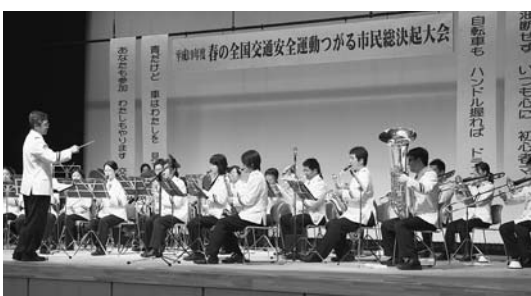
また、つがる市母の会連合会の花岡トキ会長が「安全で安心できる秩序正しい交通社会を構築するため交通ルールを守り、自ら実践し、交通事故防止に努めることを誓います。」と交通安全宣言し決起大会が閉会しました。

閉会後には、県警察音楽隊による演奏会が行われ、参加者から大きな拍手が送られていました。

安全で安心できる街づくりは私たちに課せられた責務であり、関係機関と綿密な連携を保ち効果的な運動を展開していききたいと思えます。」と述べました。



子供交通指導隊が市民に敬礼



アラルト

5月25日、長寿大学の開講式が松の館で行われ100名が出席しました。
始めに地区の代表に学長から



みんな元気に開講式

5月24日、稲垣交流センターで稲垣寿大学の開講式が行われました。

開講式には学生、聴講生合わせて184名が出席して行われ、学長と佐藤副市長のあいさつの後、小田桐勇運営委員長が「寿大学の各種講座に対する評価も高まり、多種多様の活動が出来る場でありますので、有意義に学習してください」とあいさつを述べ、第1回目の講座では名画を鑑賞し、豊かな心を育む学習が行われました。
今年はこの後10月18日まで計7回の学習を行う予定です。

学生証が交付され、学生は気を引き締めていました。
学長と佐藤副市長のあいさつの後、山谷久八郎運営委員長が「大学に来て、一番は多くの仲間が出来ることです。学習した事を地域に貢献していきましょう」とあいさつを述べました。
式終了後は、つがる署刑事生活安全課長と交通課長から、高齢者の振り込め詐欺防止や交通事故防止について講話があり、学生らは真剣に耳を傾けていました。
長寿大学は、11月21日まで計7回の学習を予定しています。

60歳以上の市民の方はいつでも聴講は可能ですので、一度参加してみても良いでしょう。



つがるの伝統行事 虫送り

五穀豊穡

〈牛瀨地区〉

5月27日、牛瀨地区でつがるの伝統行事「虫おくり」が行われました。

牛瀨小学校児童や保護者らが参加して行われた虫おくりは、田植え作業が一段落したことを祝う行事ですが、一時は後継者不足により、途絶えたこともありましたが、地域の目玉にしようと住民と学校、PTAが共同で復活させて行われています。

当日はあいにくの雨模様となりましたが、参加児童は色とりどりの法被（はっぴ）を身にまとい、大人は顔にペイントをして2体の虫を先頭に「サンサンサンソーレ」の独特な掛け声とともに五穀豊穡、無病息災を祈願しながら太刀振りを披露していました。

また、午前に行われた田植えで石戸谷校長が「6年生は最後の田植えなのでいい思い出を作ってください」と激励し、児童は小雨の降る中、冷たい水の入った田んぼに足を入れて歓声を上げながら苗を植えていました。

秋には、収穫したもち米で餅つきを行う予定です。

〈蓮川地区〉

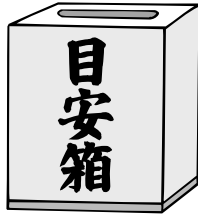
5月31日、蓮川地区でも虫おくりが行われました。

昔から、虫の製作は縁起物とされており、集落で約100世帯程の家庭が持ち回りで当たっていました。ところが最近では製作者がいなかったため5、6年程前からは地区の有志が集まり虫の製作に当たっています。

今年も花田了さんの作業小屋で行われ、イネ科の「真菰（まこも）」を使って長さ5㎝の虫が完成し、みんなで豊作を願い囃子を奏でながら地区を練り歩きました。
(表紙の写真)



無病息災



市民から寄せられた意見・提言をお知らせします

平成18年度下半期（10月～3月）目安箱への投書件数は24件ありました。
市民から寄せられた意見・提言は、今後の市政運営の参考とし、実施可能なものから速かに実施する体制をとっております。これまでに寄せられた主な意見をお知らせいたします。

意見・提言事項	回 答
○職員に対する苦情 （7件） ○国にない特殊勤務手当 18件の廃止と情報公開 （1件）	職員一同常に細心の注意をはらい、業務の適切な対応をしてきましたが、この度の苦情・提言を真摯に受け止め、今後さらに接遇等の職員研修を重ね、職員の資質向上を図って参ります。 国にない特殊勤務手当を18件設けておりましたが、これは地域性を踏まえ今まで設けてきたものでありますが、近年の社会情勢の変化に伴い見直しをすることとし、19年度には3件（医師の定着手当、放射線取扱手当、看護助手の診療介助手当）の手当てを廃止することといたしました。 今後も鋭意見直しをすることとしております。 また、この状況については、広報やホームページ等でお知らせいたします。
○木造に市営住宅の新設 （2件）	木造地区は、平成21年度以降の建設計画を予定しています。
○市三役の給料の引き下げ （1件） ○市議会議員の報酬の引き下げ （2件）	市三役の給料や市議会議員の報酬は、合併協議会において旧木造町の額とすることを確認してきました。 また、新市になった場合は報酬審議会の意見を踏まえ、改定することも併せて確認してきました。 報酬審議会は、県内各市との均衡、市の財政状況、一般職員の給与などを総合的に検討した結果、教育長を含めた四役は5.3%～7.9%（33,000円～48,000円）市議会議員は38.5%（89,000円）の引き上げを内容とする報酬改定を答申。 条例改正案及び平成19年度予算案を3月議会において、条例・予算とも成立しました。 ご意見は「報酬等を引き下げよ」とのご指摘ですが、厳しい財政状況にあることを十分認識するとともに、住民の皆さまのご理解とご協力を得て、住みよいまちづくりに取り組みます。
○議員定数を20名に削減	市議会の議員定数は地方自治法で定められており、つがる市の場合、合併協議会において法律の上限である26人とされたところです。 市政に対する住民の声をより多く議会に反映させること、また行政をチェックする議会の役割は重要であり、一定の議員数は必要であることは、ご承知いただけるものと思います。 現在の定数26人について、今後どうあるべきかについては、議会において議論が必要と考えております。
○成人病センターの存続	つがる西北五広域連合（2市4町）では、新たな地域医療体制の構築を目指し、「自治体病院機能再編成」への取り組みが進められております。 この計画に伴い「つがる市立成人病センター」の機能については、今後具体的に協議されるものと思いますが、計画の推移を判断しながら、市民に対する医療サービスの低下につながらないように取り組んで参ります。
○国保税の納期を6期から8期区分にし、少ない金額を長く納められようにしてほしい。	合併以前は、町村により4期から8期でした。納期を増やし納付額を少なくして負担を軽くということから、合併協議会において6期を採用しました。8期とのご意見ですが、農業世帯が大半をしめるつがる市において「収入の少ない冬期間の納付が大変」との意見もあります。今後状況を見ながら検討していきます。
○乳幼児医療の申請をイオン出張所でも出来るようにしてほしい。	出張所の業務は、各種証明書の発行や市民税などの納付に係る公金の取扱業務を行っています。 申請書の受付事務は、申請内容の確認等が伴い、内容に不足等が生じた場合は再度申請し直して頂かなければならないことも想定されます。ご要望のあった乳幼児医療の申請受付に関しては、現在受付していませんが、住民サービスの向上を図る取り組みとして、今後の検討課題とさせていただきます。
○学童保育の時間延長、祝祭日、土日、夏、冬休み等の対応の充実。	児童クラブの開設日及び時間は、基本的に学校の授業がある日の放課後から午後6時まで実施し、時間延長は事前に協議を必要とします。夏休み等の対応は、1日の要望もありますが、半日の開設としてきました。今後の課題とさせていただきます。
○森田地区の除雪の徹底。 （吹き溜まりがあり、危険）	除雪作業の指導と、レベル向上を図り、危険回避に努めます。
○道路にごみを捨てたり、痰を吐いたり、マナーを守らない大人がいる。	ごみの投げ捨て、ツバの吐き捨ては、「きれいな街づくり」の為に当然行われるべき行為ではなく、今後一層の啓発に努めます。
※その他 ・「ごみ分別の手引き」は、3月末に各家庭に配布いたしました。 ・観光案内板を、市内各所に新設及び修正しました。 観光パンフレットの改訂版は、平成19年度内の作成予定です。	引き続き、市民の皆様の建設的な提言をお待ちしております。 【問い合わせ先】 市役所 総務課 電話 42-1105

街の話題

小学校で田植えの授業

— 下繁田小学校 —

5月21日、下繁田小学校で田植えの体験授業が行われました。はじめに、下山校長から「他の学校の人が経験できないことを皆が出来ることを自慢し、汗をかいて頑張ってください」と話し、13人の児童はおじいちゃん、おばあちゃんの指導を受けて型転がしを使い、植える印を付けて、丁寧にもち米の苗を植えていました。

秋には、収穫祭を行う予定です。



健康には、ウォーキングが1番

— 木造地区 —

5月15日、健康ウォーキング教室が開催され、24人の参加者が心地よい汗を流しました。

第1回目は、木造の館山里さんが紹介してくれたコース（市役所から木造芦沼地区を一周）で約7km、90分のウォーキングでした。

参加者は、田園風景を眺めながら、水分補給をし自分のペースで大きく手を振りながらゆっくりと楽しそうに歩いていました。

街路灯を寄贈

5月30日、市役所で街路灯の寄贈式が行われました。

街路灯を寄贈したのは東北電力(株)五所川原営業所と(株)ユアテック五所川原営業所で、福島市長に目録を手渡し、市長は「安全で安心なまちづくりに役立ただけます。」とお礼を述べました。

両社は、昭和45年から地域貢献活動の一環としてこの事業を行っており、今年は沼崎集会所（つがる市稲垣町）の駐車場内に設置されます。



ベンセ湿原で草刈作業

5月29日、木造老人クラブ連合会の会員約50人が観光シーズン前にベンセ湿原の草刈り作業を行いました。

はじめに山谷久八郎会長から「観光客が歩きやすい遊歩道になるようにしてください」とあいさつの後、会員らは駐車場や遊歩道の除草を行いました。

草刈り作業は、貴重な湿原を多くの方に気持ちよく訪れてもらいたいと、毎年行っている作業です。

また、年間1万5千人が観光に訪れています。

新鮮な野菜や手づくりの漬物

— 木造 —

6月4日、約半年振りに木造夕市がオープンしました。

木造夕市は、6月～10月まで毎週月・木曜日に、商工会館前の特設会場で午後3時から開催されます。

今年は、新しい試みとして、買い物でスタンプを集めてプレゼントが貰える「ポイントカード」もお目見えしました。

野菜や、花、漬物、豆腐など会員が丹精込めて作った農作物や加工品を安く販売しています。



あしらせ

information

つがる市の写真を探しています

市の紹介及び農産物等の紹介DVDを制作するため、つがる市の明治、大正、昭和の写真を探しています。

つがる市の風景や祭り、農作業等の写真をお持ちの方は是非お知らせください。提供してくださった方には、「つがるちゃん」の携帯ストラップを差し上げます。

提供・問い合わせ先

市役所 地域振興対策室

電話 42・1109

国民年金

●全額免除・若年者納付猶予の申請ができます

免除や納付猶予を受けるには、毎年申請をすることが必要です。

しかし、全額免除または若年者納付猶予が承認された方は、翌年度以降も引き続き同じ申請を行うという意思表示があれば、毎年度の申請書の提出を省略できます（※失業や被災を理由に承認された場合は除く）。

ただし、毎年、社会保険事務所が免除

基準に該当するか要件審査を行い、審査結果を通知いたします。（審査をするためには本人・配偶者・世帯主のおおのの前年の所得が必要）

審査の結果、承認されなかった方でも保険料の4分の3、2分の1、4分の1の承認を受ける場合には改めて申請が必要です。

●老齢基礎年金の繰上げ

請求は慎重に

老齢基礎年金は、原則として65歳から受けられますが、希望により60歳以降、繰り上げて受けることもできます。

しかし、受けようとする年齢により一定の割合で年金が減額され、65歳以降も一生減額された年金を受けることになります（繰り上げ支給）。

また、繰り上げ支給を始めた後は、65歳前に特別に支給される老齢厚生年金の支給が停止したり、病気やケガで障害者になっても障害基礎年金を受けられない万が一、夫が亡くなったときの寡婦年金が受けられないということにもなります。一度繰り上げ請求をすると取り消すことができません。

以上のことをご理解の上、繰り上げ請求をするかどうかは慎重にお考えください。

問い合わせ先

市役所 市民課

電話 42・1108

または弘前社会保険事務所

電話 0172・27・1338

農業用廃プラスチックの回収について

平成19年度の農業用廃プラスチックの回収を次のとおり行います。

回収時期及び回収場所（予定）

木造地区

時期 8月下旬・10月中旬

場所 JA木造町、JAつがるに

しきた越水支店

森田地区

時期 10月中旬

場所 JAつがるにしきた森田支店

柏地区

時期 10月中旬

場所 JAつがるにしきた柏支店

稲垣地区

時期 10月中旬

場所 JAつがるにしきたつがる支店

車力地区

時期 6月下旬、10月中旬

場所 車力一般廃棄物最終処分場

廃プラスチックの種類

農業用ビニール、ポリ、肥料袋、農業ポリ容器など

運搬・処理料金

一キログラムあたり約34円のうち、市が4分の1を負担しますので、農家負担は、約26円となります。

使用済みのプラスチックは、農業者が

自らの責任で適正に処理する事が義務づけられています。
野焼きや不法投棄は絶対にやめましょう。

申し込み・問い合わせ先

市役所 農林水産課

電話 42・1109

JA木造町 営農課

電話 42・2155

JAつがるにしきた

つがる支店購買課

電話 49・7789

高齢者講座
開催のお知らせ

講話 『趣味を生かし充実した人生を過ごそう』

講師 石田 榮市氏

森田町在住

（前つがる市教育長）

日時 6月27日（水）午後1時30分

場所 柏公民館

参加対象者

森田・柏地区の概ね60歳以上の方ですが、他地区の方でも聴講できます。

申込方法 6月22日（金）までに、電話

でお申し込みください。

森田公民館（26・2566）または、

柏 公民館（25・2200）まで

問い合わせ先 森田公民館

「学びあい、支えあい」地域 活性化推進事業 参加者募集

消費者の安全・安心や美味しい農産物の需要が高まる中、市では農産物の「つがるブランド」を推進しています。

そこで、「つがるブランド」を合言葉に、参加者の手で広めよう―を合言葉に、参加者による農業体験や農産物の販売調査等の活動を行い、住民自身による全国発信の地域づくりを推進します。

期 間 7月～12月
対 象 市内に在住し、健康に自信のある方

募集人員 30名（申し込み順とさせていただきます）

申込締切 6月29日（金）
事業計画

- 7月 第1回学習会 地元農産物の説明会（松の館）
- 7月 第1回農業体験 スイカ、メロン等の収穫（市内）
- 8月 第2回学習会 道の駅の販売調査等（市内）
- 8月 第2回農業体験 農薬散布の視察（市内）
- 9月 第3回農業体験（コメ、リンゴ等の収穫）
- 10月 第3回学習会（市場の販売調査）
- 11月 第4回農業体験（農産物フェア参加）
- 12月 第4回学習会（情報交換会）

申し込み・問い合わせ先

つがる市教育委員会 生涯学習課

電話 49・12000

知っていますか？ ***建退共制度***

この制度は、「中小企業退職金共済法」という法律により、国が作った退職金制度です。

事業主の方々は、現場で働く労働者の共済手帳に働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに建退共から退職金が支払われる退職金制度です。

加入できる事業主：建設業を営む方
対象となる労働者：建設現場で働く人
掛金：月額310円

★特徴

- ◎国の制度なので安全、確実、申し込み手続きは簡単です
- ◎経営事項審査で加点評価の対象となります
- ◎掛金の一部を国が負担します
- ◎掛金は事業主負担となりますが、法人は損金、個人では必要経費として扱われ、税法上全額非課税
- ◎事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます
- ホームページ「建退共」に、退職金の試算・パンフレット請求等、建退共制度の知りたい情報が記載されています。

問い合わせ先

建退共青森県支部

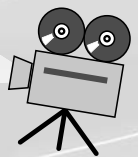
電話 017・722・7611

<http://www.kentakyo-taisyokukin.go.jp/>

第16回 @ff あおもり映画祭「縄文メロンアワード2007」

日 時 7月14日(土) 午前10時～午後5時 場 所 生涯学習交流センター 松の館 交流ホール
上映内容 ①「明日の記憶」(2006年/①のみ入場無料/要・整理券)
※つがる市男女共同参画特別協賛上映会
②「銀河鉄道の夜」(2006年/五所川原市、つがる市ロケ)
③「五重塔」(2007年/五所川原市ロケ)
ゲ ス ト ガッツ石松(俳優)、秋原正俊(②③作品監督)
入場料前売 1,000円(当日1,500円)

前売り券販売所・問い合わせ先 川嶋新聞店 電話 42-2218



第57回 社会を明るくする運動

社会を明るくする運動は法務省の主唱により、全ての国民が犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国運動です。

本年度は、全国統一標語「防ごう犯罪と非行・助けよう立ち直り」をスローガンに、つがる市では下記により行いますので、多くの市民の皆様の参加をお願いします。

- 実施日 7月3日(火)
- 市民集会 つがる市役所正面玄関前 午前10時15分
- パレード 市役所前(午前10時36分) 出発～木造中央公民館(午前10時55分) 解散

【問い合わせ先】 市役所 福祉課 電話 42-2175



「つがる市・市人会」会員 募集

～関東地区に在住する、つがる市出身者をお知らせください～

故郷つがる市を遠く離れて「関東地区」に在住するつがる市出身者で親睦・交流を図り、郷土の発展につなげるため、「つがる市・市人会」を設立する計画を進めております。

関東地区にお住まいのご親類や友人・知人等を教えていただき、一人でも多くの方に参加していただきたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

なお、お知らせいただいた氏名・住所は目的以外には使用しませんのでご安心ください。

《目的》

関東地域で活躍しているつがる市出身及び本市にゆかりのある個人とネットワークを形成し会員相互の親睦と交流を図るとともに、つがる市勢の発展を図るために幅広い提言や情報及び支援を得ることを目的とする。

あわせて、団塊世代の方々へ情報を提供し、つがる市への交流・定住を促進する。

【紹介・問い合わせ】市役所 企画課 〒038-0391 つがる市木造若緑61の1

電話0173-42-2372 FAX0173-42-3069

つがる市健康づくり講座

参加無料

日時 7月4日(水)

午後1時30分～午後3時

場所 生涯学習交流

センター「松の館」

テーマ及び講師

おとなの食育

ー健康食品だけで 健康づくり!?ー

青森県立保健大学 健康科学部

教授 藤田 修三氏



健康チャレンジャー大募集

参加した健康づくり事業の感想や自分の振り返りを川柳にしてみませんか

期間：7月から2月まで

対象講座：健康づくり講座、心の健康づくり、栄養教室

ウォーキング教室、ナイターシェイプアップ教室

川柳登録内容：

- ①対象講座当日または健康推進課で、登録カードを受け取る。
- ②参加した講座の感想などを川柳にする。
- ③2月に川柳を書いた登録証を健康推進課に提出する。
- ④抽選および優秀川柳者の方を3月の健康づくりお楽しみ会へご招待。



【問い合わせ】市役所 健康推進課 電話 42-2044

航空自衛隊音楽隊 演奏会

航空自衛隊とつがる市との交流事業として、航空自衛隊北部航空音楽隊による演奏会を開催いたします。

日時 7月8日(日)

開場 午後1時30分 開演 午後2時

1部 クラシック 2部 ポップス、ジャズ

場所 つがる市生涯学習交流センター 松の館

入場 無料（なお、入場は開場時間に合わせ先着順（480人）となります。）

問い合わせ先 市役所 総務課 電話42-1105



車力分屯基地27周年 記念行事



日時 6月23日(土) 午前10時～午後2時
場所 航空自衛隊車力分屯基地

内容

- ①装備品の展示（ペトリオット器材・基地防空火器・陸上自衛隊装備品）
- ②体験試乗（陸上自衛隊高機動車・ジープ・除雪車等）
- ③売店・子供ゲーム大会

問い合わせ先

航空自衛隊車力分屯基地 電話56-2531

麻しん(はしか)が流行しています

麻しんは感染力が非常に強く、重症な場合には中耳炎や肺炎、脳炎を合併することもある病気です。

このところ、首都圏における麻しんの集団発生事例が増加しており、東京や埼玉などの関東地方を中心に麻しんが流行しており、県内でも成人の麻しん発生が確認されています。

また、本県においてもこれから流行のピークをむかえる傾向があり、麻しんの感染拡大が懸念されることから今後一層の注意が必要です。

1 麻しん(はしか)とは

(1) 感染経路は？……飛沫感染・空気感染により感染します。

(2) 潜伏期間は？……10～12日間です。

(3) 症状は？

まず、発熱、せき、鼻水など「かぜ」に似た症状が2～4日間続きます。

その後、一旦熱は下がりますが、再び高熱が出て、顔・首・全身に発疹が現れ3～5日間続きます。

回復に向かうと、発疹は退色して、発熱もなくなります。発疹は色素沈着がしばらく残存します。

(4) 治療は？……特別な治療はなく症状を軽くするための対処療法が行われます。



2 麻しんの予防方法は

(1) 予防には麻疹ワクチンが有効

麻疹ワクチンは免疫効果が高く、発症の予防や重症化予防が期待できます。

予防接種を受けていない方で麻しんにかかったことのない方は早めに予防接種を受けましょう。

1歳～2歳未満児と小学校就学前年度の児童は定期の予防接種が受けられます。

(2) 医療機関の早期受診を心がけよう

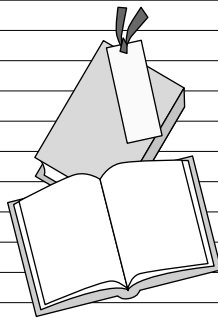
麻しんの初期症状は、かぜの症状と似ていますので、発熱等がある方は、外出を控えましょう。

症状がある場合は早めに医療機関で受診してください。

【問い合わせ先】 市役所 健康推進課 電話 42-2044

新 着 図 書 松の館 図書コーナー

書 籍 名	著 者 名	出版社名
・風が強く吹いている	三 浦 しおん	新潮社
・図書館戦争	有 川 浩	メディアワークス
・ミーナの行進	小 川 洋 子	中央公論社
・陰日向に咲く	劇 団 ひ と り	幻冬舎
・女性の品格	坂 東 真理子	PHP研究所
・前巷説百物語	京 極 夏 彦	角川書店
・林住期	五 木 寛 之	幻冬舎
・田中宥久子の体整形マッサージ美しき一枚皮	田 中 宥久子	講談社
・四字熟語ひとくち話	岩波書店辞典編集部	岩波書店
・北の秘密	西 村 京太郎	中央公論社
・泣き虫弱虫諸葛孔明	酒 見 賢 一	文藝春秋
・泣き虫弱虫諸葛孔明第貳部	酒 見 賢 一	文藝春秋
・まんまこと	畠 中 恵	文藝春秋
・心の病なんかない	大 野 裕	幻冬舎
・お母さんはしつけをしないで	長谷川 博 一	草思社
・だから、僕は学校へ行く！	乙 武 洋 匡	講談社
・こうちゃんの簡単料理レシピ	相 田 幸 二	宝島社
・一人二役	河 本 準 一	ワニブックス
・簡単ルールできれいな字を書く	宮 澤 敏 彦	日本放送出版協会
・運動会で一番になる方法	深 代 千 之	アスキー
・運動神経は10歳で決まる！	立 花 龍 司	マキノ出版
・お札DEおりがみ公式「ターバン野口」のつくりかた	いそにしまさお	宝島社
・バッテリーVI	あさの あつこ	角川文庫



●県立図書館一括借り入れ図書 ●一般1152冊 ●児童書130冊

※ 今後も新刊購入を予定しており、年間図書購入計画の中でリクエストに応じています。
また、県立図書館一括借り入れと併せてご活用ください。

【問い合わせ先】 生涯学習交流センター 松の館 電話 49-1200



ふるさとたんけん隊 参加者募集

こどもクラブ1回目は、つがる市木造の歴史や名所を散策する、「ふるさとたんけん隊」を開催します。

つがる市在住の郷土史家の福士光俊先生(森田町在住)がお話してくださいます。

郷土の歴史や名所を散策してみませんか？



と き 7月14日(土) 8:30~12:00

と ころ 地図の番号(6カ所)

募 集 人 員 25名(4年生~6年生)

準備するもの 筆記用具、天候にあった服装

日 程 8:30 松の館集合
9:00~12:00 地図の①~⑥散策
12:00 解 散

申し込みは、電話で確認後、生涯学習課(松の館)で用意している申込用紙に記入・押印の上、参加費を添えてお申し込みください。

(傷害保険に加入しますので、生年月日もお知らせください。)

申込期間 6月25日(月)から29日(金)
印鑑必要

参 加 費 一人 200円(保険・飲み物代)

※日程は天候や時間により、変更する場合があります。

Summerキャンプ

子どもたちが自然体験活動をとおりお互いに汗を流し、仲間と心をつにし、最後までがんばりとおす力を育てる。

日 程 7月31日(火) 8:30~8月1日(水) 16:00

1日目

8:30 「松の館」集合、出発
10:00 くろくまの滝、いとう養殖場見学
12:00 昼 食
14:00 石かまでのピザ作り体験

2日目

9:00 木工工作
13:00 温水プールの体験
16:00 「松の館」到着

場 所 鯉ヶ沢キャンプパーク「長平青少年旅行村」ほか
募 集 人 員 つがる市内の小学生(5~6年生) 20人限定(募集人員になり次第締め切ります。)
参 加 費 一人 4,000円
申 込 先 教育委員会 生涯学習課まで
申 込 締 切 7月2日(月)~6日(金)

申し込みは、電話で確認後、生涯学習課(松の館)で用意している申込用紙に記入・押印の上、参加費を添えてお申し込みください。

なお、申込書には印鑑が必要です。

服装・準備 着替え、洗面用具、飲み物、おやつ、虫除けスプレー、寝袋、汗拭きタオル、水着ほか

主催・問合せ先 つがる市教育委員会 生涯学習課(49-1200 内線13)まで

